

# わか草



第67号 令和5年7月1日  
発行 東京都立東部療育センター  
広報委員会  
東京都江東区新砂3-3-25

## 東部フェスティバル

六月二十二日(木)二十三日(金)、東部フェスティバルが開催されました。「遊園地」をテーマに、アトラクションをはじめジャンглの動物と触れ合ったり、恐竜に扮した職員とゲーム等を楽しんだりして楽しみました。

パレードでは光と音の協演を楽しみ、ワールドパザールでは、フロア中に甘い香りを漂わせて、嗅覚味覚を感じながら買い物の体験していただきました。三年ぶりのフェスティバルということもありセンター中で、多くの職員が協力して行事を盛り上げることができました。利用者様もたくさん経験を通じ、色々な表情を見せてくれました。

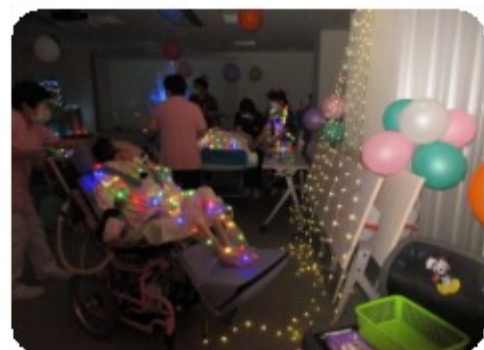
(療育部 小川)



香りを楽しんだり..



買い物を楽しむ様子



熱くならない装飾品を身にまとい  
パレードに参加する様子



巨大な動く恐竜を間近で感じる利用者様



実際に食べていただいたパンケーキです。  
栄養士が一人ひとりに合った形態で提供しました



パンケーキ作りを披露しました



## かもめ分教室

入学を祝う会

令和五年度の入学者は中学部一名のみでした。四月七日、病棟内で入学式が開催されました。

コロナ感染症対策のため在校生の参加はできませんでしたが、墨東特別支援学校の校長先生、副校長先生、かもめ分教室の教員、保護者様、副院長、病棟職員など多くの関係者の方々から祝福をうけた入学式となりました。

新中学生は少し大きめの制服でしたが、その姿だけでも成長を感じられました。厳かなうちにも温かい雰囲気の中でお祝いすることができ、とても素敵な式となりました。

(療育部 村田)



入学式の様子

## 療育の紹介・行事・活動報告

療育部 村田 千幸

東部療育センター療育部  
東部療育センターの療育部は、看護師・生活支援員(保育士・児童指導員・介護福祉士)・歯科衛生士で構成されています。総勢約百五十名と、センターの中で最も多くの職員が所属しています。

年々、当時の看護師数は百三名、支援員が三十二名、歯科衛生士二名でした。その後、多少の変動はありますが、ほぼ横ばいの人数で推移しています。

入所者様は当時三十代の方が最も多く入所されていきました。それから十七年の年月が過ぎ、現在は五十代から六十代の方が一番多い状況となっております。利用者様の最も近くにいる療育部職員は利用者様の変化を敏感に感じています。これまでできていたこと、問題なかったことが最近になり出来なくなっている現状を、日々のお世話をする中で目の当たり

にしています。何とか残された機能や能力を最大限に活かす方法はないかと皆で考えています。そのため、日々の活動や行事はこれらのことを意識して計画しています。しかし、この数年のコロナ禍では、活動を拡大したいという意見が多かったのですが、感染状況が許しませんでした。

何度か病棟閉鎖も経験し、その都度、これ以上拡大しませんようにと祈りながらお世話をしていました。

開設後、センターは重症心身障害児者入所施設として様々な事を体験しながらの十七年間だったと思います。が、何と言っても、この三年間の新型コロナ感染症の体験は、我々に最も大きな影響を与えたのではないかと思います。

感染が始まった頃、職員は自身が感染することよりも利用者様に感染させてしまったらという恐怖心がありました。そして、ピークを迎えた令和二年にはついに院内においても感染が発生しました。

支援員は限られた行動範囲の中で、また、ご家族との面会もままならない状況のなかで利用者様にいかに楽しんでいただけるか、とそのことばかりを考えて、これまで計画したことのない内容を必死に皆で検討し企画してきました。

気分だけでもお出かけ気分を感じていただくようキャンプや料理、映画等の、可能な内容を検討し実行してきました。

一方看護師は感染防止対応に追われる毎日でした。日々の業務に加えて感染防止対策に関連した追加業務、利用者様の活動内容の工夫等、三百六十五

日、二十四時間利用者様の傍にいる療育部の職員は緊張の毎日でした。

また、通所、外来においては、毎日、不特定多数の方を対象にケアを行いますので、さらに緊張感をもちながら業務を行ってききました。それは現在も同様です。特に通所はバス添乗の人数制限という対策で通所内での感染は未然に防いでいます。

時にご家族様からは過剰な対応なのでは、とのご意見もいただきましたが、院内において感染させてなるものかとの一心で対応致しました。

今年の五月に「コロナが五類になり、センターの感染予防対策委員会と連携しながら少しずつ行事内容の拡大に努めています。まだまだ油断できないコロナ感染症です。

利用者様の一番近くにいる療育部の職員は一日も早く日常に戻り、利用者様にご家族と自由に面会し、一緒に行事に参加できる日を待ち望んでいます。そのため皆で力を合わせて努力しています。



2020



2021



2022

感染対策をしながら利用者様と楽しむ様子



**栄養科協議会参加報告**

「日本重症心身障害福祉協会協議会オンライン開催」  
 びわこ学園・口分田先生から「特定の栄養素不足が顕在化しやすい重症児(者)は、近年カルニチンやセレン・ビタミンB12・不飽和脂肪酸不足で心筋機能低下・瘧れん・骨脆弱化・気導過敏やアレルギー・亢進等の合併症が増加した」ことが報告されました。対策として、当センターも実施している栄養補助食品の積極的な利用や腸内細菌叢が整い免疫活性化も期待できるペースト食の食物注入が紹介されています。

(栄養科)

**選挙**

意思決定支援ワーカーグループでは、入所利用者の選挙参加を支援しています。まず、十八歳以上の入所者様の選挙への理解と関心を確認し、その中で選挙に参加したいと思いを明示した方に支援を開始しました。実際の援助に先立ち、候補者・政党の情報提供や投票

票場面での援助方法について検討を重ね、規約を設けました。規約は、職員側が入所者様の意見を見を誘導しないことに留意に置くとともに、個人情報保護の観点から、誰に投票したかなどの情報を口外しないルールも盛り込みました。色々な制約もありますが、入所者様の社会参加の大切な機会と捉え、今後も支援を継続していきます。

(心理 西山)

選挙を行っている様子



選挙候補者の説明について聞いている様子



**リハビリ科**

**連載コーナー**

今年度も昨年度に引き続きリハビリテーション科が連載記事を担当しています。今回はスノーブレン活動についてご紹介します。

り再開しました。まだまだ大きな空間を準備しました。だセンターの外で行う活動に制限がある中、少し中心に、そして土日に入でも季節感を感じていた所利用者がスノーブレンだこうと秋は紅葉、冬は雪、春は花をテーマにスノーブレン室での活動を楽しんでスノーブレン室の飾りつけを行いました。六月には土曜日午前の製作から利用者様と一地域開放も再開され外来の製作用者様と一緒に行います。今後も多くの利用者様から利用者の皆様方がリラックスしたりできる空間を提供していきたいと思いを彩りました。視覚的な装飾以外にも雪の冷たさを感知されるスライム等の触覚刺激やテーマに沿って利用者様が選曲したBGM等の聴覚刺激、リラクセスできるフルーツの香りの嗅覚刺激など様々な感覚刺激を満喫で

(リハビリ科 松木)



写真につきましては、全て掲載の許可をいただいております。

**地域療育支援室からのお知らせ**

当センターでは、サービス向上と虐待防止のため、外部の方に第三者委員をお願いしています。サービスマン向上の第三者委員は齊木委員と中澤委員、虐待防止は廣瀬委員です。

**中澤 剛 委員**

(淡青税務法律事務所)

「最も弱い者をひとりももれなく守る」という東部療育センター理念に共感しています。引き続き、第三者委員という立場から、利用者の方々に喜んで頂ける場所となるよう、尽力したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



中澤 剛 委員

齊木 博 委員  
 本年度も第三者委員をやらせていただく齊木です。江戸川区医療的ケア児・者コーディネーターとして、通常は江戸川区立希望の家に勤務しております。「どんなに障害が重くとも、生まれ育ったこの街で生活し続けたい」とその想いを受け止め、ご利用者様、支える御家族様を大切に、第三者委員の責務に真摯に取り組み所存です。何かございましたら、ご遠慮なく御連絡下さい。今年度も宜しくお願い致します。



齋木 博 委員

廣瀬 正雄 委員  
 虐待防止委員会第三者委員として委嘱を受けた廣瀬正雄と申します。墨東特別支援学校副校長時代からのお付き合いになります。このたび貴院から課せられた職務をしっかりと果たして参りたいと存じます。よろしくお願い致します。



廣瀬 正雄 委員

第三者委員へ、ご相談したい場合には投書箱または電話にてご相談下さい。投書箱は総合受付前や一階公衆電話横等にあります。電話の連絡先は総合受付カウンターに掲示があります。

(地域療育支援室 鈴木)

**東部あれこれ**

春から初夏のセンターの動きです。  
 新型コロナウイルス感染症が五月八日から五類感染症に移行し、以前のように地域の祭りが行われるようになり、海外からの旅行者が増えてきているなど、日常生活に活気が戻ってきています。

【四月】  
 今年も新入職員などを迎えて新年度が始まりました。かもめ分教室では中学部に一名をお迎えし、七日に病棟で入学式が行われました。現在、小学部に三名、中学部と高等部

【五月】  
 三十一日から六月にかけてバスハイイクが行われました(入所されている方は四回、成人で通所されている方は二回、実施)。バスで木場公園まで行き、天気が良い日には公園内を散策し、現地でお待ちのご家族とも一緒に過ごされました。あいにく雨模様の日にはバスで木場公園周辺をドライブしました。バスハイイクは十一月まで順次行いますので、これから参加される方は楽しみにお待ちください!

【編集後記】  
 五月八日に新型コロナウイルスも五類へと移行し世間は行事等が再開してきました。江東区では八月十一日に四年ぶりの花火大会が復活されます。打ち上げ場所も東部療育センターから近いようです。利用者様と一緒に楽しいひと時を感じられたらいいなあと思っております。

←これまでのわか草をご覧になりたい方はこちらからどうぞ



(事務長 松浦)